

吉野歴史資料館からのお知らせ

吉野歴史資料館のイベントご案内、実施した事業の報告などをご紹介します

講演会のご案内（令和5年度）

●特別陳列関連講演会（2本の講演を同時開催）
 日時：令和5年7月23日 13時00分～15時30分
 会場：吉野町中央公民館 大ホール
 内容：徳川家康・牧野富太郎と吉野について
 講師：町職員 定員：50名 参加費：500円
 申込：〒634 住復はがき・電子メールで、吉野町産業観光課まで参加希望者の住所・氏名・連絡先をお知らせください。

令和4年度 職場体験報告

令和4年度も吉野さくら学園吉野中学校より、3人の生徒さんが職場体験に3日間、来てくれました。彼らの感想文を少しご紹介します。

【Tさん】職場体験で、一番楽しかったこと、勉強になったことは、一日目の縄文や弥生時代についての話です。一日目、久びさに来たときは、あまりきん張していなく、とても楽しかったです。担当者に会ったとたんに、プレッシャーがおそって来ました。役場の人と話せるか不安だったけど、うまく話せてよかったです。しかし、まだ本番ではないことを、僕は分かっています。あいつの後は、資料館の中についての説明を聞きました。そんな中、縄文時代や弥生時代の話に入った時授業では習わなかったことや知らなかったことをたくさん知ることができました。（中略僕は一日目で、歴史をもっと知りたくなりました。またいつかここに行きたいと思いました。）

【Yさん】一日目。たくさん教えてもらいました。資料館の倉庫の中はとても寒かったです。



二日目。飛鳥時代と奈良時代の土器を、さわりました。土器を持つ時は、低く持ちあげるそうです。なぜなら、手がすべった時に、衝撃を少しでもやわらげるためだそうです。次に富本銭を作りました。富本銭とは昔のお金で、真ん中に正方形の穴があります。そして、『大和名所図会』についての資料を作りました。最後に、吉野の作文を書きました。自分は『戦時下の生活』を書きました。第二次世界大戦の時、吉野はどうだったのかを調べました。（中略）

三日目は「扇の的」の視聴とキャブション（物を説明するボード）作成とパネルカット（キャブションを作るためのパネルを切ること）をしました。私は資料館に来て本当に良かったです。

【Hさん】（前略）職場体験が一番印象に残ったことは、収蔵庫を見物したことが古文書の調書を書いたことです。収蔵庫には見たことがないくらいぎつしりと本棚にしまった本や展示がされていました。などがたくさんあってすごいなと思いました。古文書の調査では（中略）今はもう使っていない漢字があつて本当に古いものなんだと思いました。この三日間で体験したことを資料館で働いている人たちは普段からやっているのだと思うとすごいなと思いました。それはワークショップの話す側を体験したときに、どうしたら伝わるか、どうしたら面白いと思ってもらえるかを考えながら話すというのがとても難しかったからです。私もいつか面白いと思ってもらえるような話ができる人になりたいと思いました。（後略）



吉野が紹介されました（令和4年度報告）
 左記の刊行物に写真提供や協力等しました。
 ・JR東海・「そらみつやまと」、いざいざ吉野等
 ・BS・TBS・関口宏の一番新しい古代史#11
 ・奈良テレビ放送・ゆうドキッ！（11月）
 ・毎日新聞「ぶんかのみかた」12月19日号（夕刊）
 ・朝日新聞・おでかけ関西ちよつとウラ話
 ・奈良新聞・創刊記念特集
 ・小学館・「学習まんが日本の歴史」
 ・雑誌・「月刊大和路ならら」7月号
 ・雑誌・「中国紀行CKMR」
 ・ムック本・「関西の神社と寺」
 ・NPO法人まほろば円舞会・舞台背景
 ・広報・「県民だより奈良」5月・7月・11月号
 ・広報・「広報よしの」生涯学習情報6月・12月号
 ・奈良県・「紀万葉プロジェクト関連事業」
 ・なら歴史芸術文化村・奈良県指定の文化財展
 ・大津市歴史博物館・大友皇子と壬申の乱展
 ・関ヶ原町・壬申の乱1350年記念企画展
 ・伊豆の国市・坂東武者ゆかりの地マップ
 左記の講演・案内で館職員が講師を務めました。
 ・なら紀万葉プロジェクト首都圏講座（6月）
 ・吉野町観光ボランティアガイドの会研修（7月）
 ・桜井市観光ボランティアガイドの回研修（8月）
 ・吉野さくら学園・人権教育研究会（8月）
 ・県内高校社会科教員・地理教育研修会（8月）
 ・奈良県ユネスコ連絡協議会・合同研修会（9月）
 ・平城宮跡いざない館・元正天皇展関連講座（9月）
 ・大津市歴史博物館・れきはく講座（10月）
 ・「いざいざ吉野」吉野の魅力体験イベント（11月）
 ・熊野古道センター・吉野町講演会（2月）
 ※R4年度は多くの機関等で吉野を紹介頂きました。

たぎつみやどころ 第10号 令和5年6月30日発行

【編集】吉野歴史資料館 奈良県吉野郡吉野町宮滝388 ※現在は土日祝日のみ開館。12月～2月は冬季休館。お問い合わせは左記まで。
 【発行】吉野町産業観光課 奈良県吉野郡吉野町上市80・1 ☎:0746-32-3081 ☺:0746-32-3081 fax:0746-32-8855 mail: bunkazai@town.yoshino.lg.jp

資料館HPでも情報発信中！ <http://www.town.yoshino.nara.jp/about/shisetsu/dentou/rekishishiyokan.html>

HP



YouTube



吉野歴史資料館だよりは、希望される方に無料で送っております。詳しくはお問い合わせください。

二〇二二年の文化財ニュース

二〇二二年は吉野町の文化財にとって、大きなニュースが3つもありました。一つ目は、吉野神宮が重要文化財に指定されたこと。奈良県内では、近代神社建築で重要文化財になった第一号です。

二つ目は、北岡本店の酒蔵（東棟・西棟）が国登録文化財になったこと。昭和初期の鉄筋コンクリート造酒蔵として、価値が評価されました。

最後は、壬申の乱一三〇〇年として宮滝が大きく紹介されたこと。ポスターがつくれ、東京・大阪などで掲示されました。

二〇二三年は何のメモリアル？

二〇二三年も吉野にとってのメモリアルイヤーは続きます。メモリアルイヤーとなるのは、元正天皇吉野行幸一三〇〇年、司馬遼太郎生誕百周年です。また、連続テレビ小説「らんまん」、大河ドラマ「どうする家康」の主人公も吉野に縁があります。ちなみに！来年になると世界遺産二〇周年、聖武天皇の吉野行幸一三〇〇年などがメモリアルになります。こうした情報も、資料館では随時発信していく予定です。

講演会の再開とアンケート

令和4年度は久方ぶりに、講演会を開催しました。内容は「壬申の乱」が4回、「古文書調査報告」が1回です。町内の方はケーブルテレビなどでもご覧けたのではないのでしょうか。町外の方は資料館YouTubeチャンネルでも一部ご覧頂けます。

令和4年度の講演会では、参加者の皆様にアンケートをお願いしました。結果、いずれの回も、ほとんどの方がお楽しみ頂けた様子で、ありがたく思っています。また、今後、講演会で聞いてみたい内容を伺いますと、時代別では「飛鳥・奈良時代」「南北朝時代」の回答が多く、ジャンル別では「吉野の歌」「吉野の文学」「能や歌舞伎」などの回答を多くいただきました。今後の講演会に際し、参考にしたいと思います。

令和5年度 特別陳列のご案内

二〇二三年上半期は特別陳列「元正天皇（天皇吉野行幸譚）」と「縁が結んだ縁」牧野富太郎・徳川家康と吉野」を開催中です。下半期は司馬遼太郎と吉野の繋がりをご紹介します。予定です。ご期待ください。



吉野歴史資料館だより



第10号
 通算第13号

国栖・翁橋から高見川上流を望む

古文書調査をすすめている本善寺のこと、ご存じですか — 「本願寺蓮如と本善寺の創建」